

【JA東京あおば 経営理念】

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切にし、地域になくてはならない存在をめざします。

管内の農業情報・料理レシピ・家庭菜園などなど・・・

広報誌 Ⅱ “知って応援” 都市農業

JA東京あおば

あ
お
ば

あおば No.112 令和7年4月発行

東京あおば農業協同組合

〒179-0075 東京都練馬区高松5-23-27

tel.03-5372-1311

◎広報誌「あおば」で取得した個人情報、広報活動以外の目的では使用いたしません。

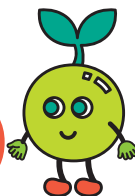
◎本誌内容の無断転載を禁じます。

No.112

Spring 2025



JA東京あおば HP



2025年
春号

あおば

【 特 集 】

令和7年度 新入職員紹介
准組合員アンケート結果について

〈大人気〉
きじまりゅうた
あおばの台所



01 NEWS

板橋区「新春七草がゆの集い」開催

1月7日(火)板橋ふれあい農園会と板橋区は、区立城北公園で第35回新春七草がゆの集いを開きました。JA東京あおばも協力し、地域住民1000人に無料で七草がゆを振る舞いました。農園会の会員が大釜を使って調理し、七草の他に、区内産のニンジン、サトイモ、長ネギなどたくさん野菜を入れて炊き込みました。

来場者は「毎年来ています。寒い中で、野菜たっぷりの七草がゆは温かくて、とてもおいしい」と話しました。

農園会の染宮利章会長は「毎年多くの来場者に感謝しています。地域の人の交流もでき、都市農業のPRにもなりました。今後継続していきたい」と意欲を示しました。

会場内には、農産物の豊作を祈願して「繭玉かざり」も飾られました。また、板橋産の野菜や花の販売会場が設けられ、にぎわいを見せていました。



03 NEWS

桜台支店 最後の親睦会総会・新年会開催

1月31日(金)桜台支店は平和台支店と統合前、最後の親睦会総会・新年会を開きました。管内組合員をはじめ、久保秀一組合長以下、役員総勢50人が参加しました。支店再編計画は、令和6年度まで取り組んできた第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の中ですすめており、今回の統合をもつて完遂となりました。

同会の新井忠之会長は「統合しても、親睦会を平和台支店と共に盛り上げていきたい」と話しました。

2月25日(火)より新たな平和台支店として業務がスタートしています。引き続き「組合員のお宅がJAの窓口」となるよう訪問活動を強化し、出向く体制を充実させていきます。



02 NEWS

大泉新鮮直売組合 30周年記念式典開催

1月23日(木)大泉新鮮直売組合は、設立30周年記念式典をファーマーズショップこぐれ村で開きました。同組合は、1994年に設立し、東京23区で初めてオープンした農産物直売所を運営した団体です。現在は77人が加盟し、売上げは、1億円を超えるほどになりました。

式典では、結成以来同組合を支えてきた渡邊和嘉さん、白石好孝さんが記念講演を行い、当時の結成やあゆみを振り返るとともに、今後の発展を誓いました。

同組合の庄光男組合長は「これまで大泉の都市農業を支えた生産者の仲間、地域の方に感謝したい。これからも安全でおいしい農産物を届けられるよう努力を続けていきたい」と決意を語りました。



04 NEWS

農業後継者対象の営農学習会開催

1月17日(金)青壮年組織協議会は、農業後継者を対象に営農学習会「第11回アグリスクール」を開き、16人が参加しました。同スクールは、若手・新規農業者が営農活動の見直しや新たな気づきを得られる機会として継続的に開かれています。青壮年部以外の方も参加でき、交流の場にもなっています。

第1部では、一般社団法人全国農業会議所の専門相談員から農地を守るための相続税対策について学びました。第2部では、渡辺崇職員(練馬地区ア

05 NEWS

第73回関東東海花の展覧会 花き品評会受賞者発表

1月31日(金)～2月2日(日)、池袋サンシャインシティ文化会館で第73回関東東海花の展覧会が開かれました。花に対する理解と消費の啓発を図り、花き産業の健全な発展に寄与することを目的に、1都11県と花の団体が昭和26年から都内で開いている日本最大級の花の展示会です。管内からは4人が受賞しました。おめでとございます。(敬称略)



花苗部門	銀賞 高橋 勉(大泉地区)	【種類名 アリッサム】
	銅賞 杉森 健二(大泉地区)	【種類名 プリムラ・ジュリアン】
一般鉢物部門	銀賞 小川 収(大泉地区)	【種類名 プリムラ・マラコイデス】
	銅賞 篠崎 洋幸(大泉地区)	【種類名 ラナンキュラス】

06 NEWS

児童に地域農業の魅力を伝える

1月31日(金)地域振興部は、地元の小学校3年生を対象に社会科見学を受け入れ、児童と先生85人が見学しました。

当日は、JAの仕事内容や管内農業の特徴など、クイズを交えながらスライドで説明しました。児童も積極的にメモを取りながら、楽しそうに話を聞きました。実際に直売所やトラク

ター、肥料倉庫も見学し、直売所ならではの魅力を伝え、児童も興味津々でした。当JAでは毎年、社会科見学を受け入れており、令和6年度は7校562人が見学しました。

今後も関係機関と協力しながら、食農教育の大切さを伝えていきます。



07 NEWS

業務円滑化へ
青壮年部と若手職員が意見交換

1月15日(水)練馬地区青壮年部は、若手職員を中心に、これまで同地区の支店やアグリセンターに配属経験のある職員と同部員の意見交換会を開き、部員13人と職員25人が参加しました。

コロナ禍を境にイベントなど組合員と職員が交流する機会が減少し、農産物を支店に納品する際に「内勤職員の顔が分からない」という部員の声から今回の開催に至りました。

意見交換会では、部員が自身の就農歴や営農状況を紹介した後、職員からは「関わりが少ない組合員や職員と話すきっかけができて、今後の業務に活かせる情報を得ました」といった声が聞かれるなど、充実した時間となりました。



09 NEWS

練馬地区女性部通常総会と
新年会を同日開催

2月20日(木)練馬地区女性部は、ホテルカデンツア東京で通常総会と新年会を開き、部員をはじめ44人が参加しました。出席率向上などを目的に総会と新年会を初めて同日に開催。新年会では、演歌歌手の小島よしきさんをゲストに招き、ステージ企画は大いに盛り上がりを見せました。今回の通常総会にて就任した新役員体制のもと、令和7年度も活発に活動していきます。



08 NEWS

石神井地区青壮年部・
そ菜部営農研究会合同で金沢視察

1月28日(火)石神井地区青壮年部・そ菜部営農研究会は、サツマイモ栽培や加工について学ぶため、五郎島金時の産地である石川県のJA金沢市と有限会社かわにを視察しました。

JA金沢市では集荷場とキュアリング施設を見学し、五郎島金時の歴史や甘藷の栽培技術、収穫から貯蔵・キュアリング・出荷までの流れを学びました。大きな特徴は、出荷規格が

30もあり、多様なニーズに応え、秀品の価値を高めることができます。有限会社かわには五郎島金時の栽培・販売・加工を行う農業生産法人で、加工施設を見学後、都市農業とは異なる大型産地の経営やブランドینگを学びました。



10 NEWS

令和6年度
教育文化活動セミナー開催

3月1日(土)、石神井支店で令和6年度教育文化活動セミナーを開きました。地域に根ざすJAとして教育文化活動の重要性を再確認することを目的に、JA役職員や青壮年部員、女性部員ら264人が参加しました。

一般社団法人家の光協会普及文化本部東日本普及文化局の魚谷昌宏副局長と滝本匡志職員が講師を務めました。『家の光』の活用』と題して、共通の物差しを基にした会話の重要性について話し、事業部門ごとに活用できる記事を紹介しました。

また、組合員の発表として、女性組織活動体験発表を大泉地区女性部の加藤優子さん、青壮年組織活動実績発表を大泉地区青壮年部の高橋徹さんが発表しました。

久保秀一組合長は「協同の心を大切に、今回の学びを今後の事業活動に活かしてほしい」と話しました。



11 NEWS

特殊詐欺 未然に防ぐ

赤塚支店渉外担当加藤裕哉職員は、特殊詐欺を未然に防ぎ、警視庁高島平警察署から表彰されました。

「普段は些細なことでも話してくれる組合員さんが、窓口で貯金を解約した」と聞き、すぐにその理由を尋ねたが、曖昧な回答でした。後日、「家族にも言いにくいことがあり、悩んでいるので相談に乗ってくれないか」と加藤職員に話がありました。すぐ、自宅に伺い、事情を聴くと「間違いなく特殊詐欺の手



口」と確信しました。上席に一部始終を報告し、警察にも相談したことから、未然に特殊詐欺を防止することができました。日頃から地域や警察署と連携して特殊詐欺防止に努めており、「対話運動を通じた組合員とのつながり強化」を行っています。何かお困りの際は、遠慮なく渉外担当若しくは最寄りの支店まで相談ください。

(※加藤職員は、4月より平和台支店勤務となります。)

12 NEWS

営農指導員養成研修 優秀賞受賞

第35期JA営農指導員養成研修を受講していた上野真由香職員(石神井地区アグリセンター)が1年間実施された研修の集大成である論文発表大会で優秀賞を受賞しました。

上野職員は「わたしは営農指導員として地域で何をすべきか、生産者の所得向上を目指す」と題して発表しました。直売所の売り上げ低迷と農業

資材価格の高騰を課題に挙げ、買い取り販売方式を前提とした生産者への作付け提案と魅力的な直売所づくりに向けた交流サイト(SNS)の活用、資材コスト低減をめざした集中購買の強化について力強く提案しました。

本研修は、都内JAの職員が受講し、作物の栽培基礎から、都市農家の経営まで様々な内容を1年かけて学びます。



遊休資産活用のご案内

旧豊玉支店2階に「区部農業改良普及センター-城北分室」を開設しました

東京都は、スマート農業や農産物のブランド化などを推進するため、農業者の指導機関である農業改良普及センターの体制を強化して、この度、旧豊玉支店2階に「区部農業改良普及センター-城北分室」を開設いたしました。



菅谷 悦子さん

下野 大輝さん

【区部農業改良普及センター 城北分室】

- ◆住 所 練馬区豊玉北4-7-6 (駐車場あり)
- ◆開設日時 月～金【休み:土・日・祭・年末年始】
- ◆開設時間 9時～16時
- ◆管轄区域 板橋区、練馬区
- ◆電話番号 03-5946-9326



担当者より

不在の際は、電話の留守録にメッセージを残しておいてください。折り返し、お電話させていただきます。販売農家の皆さまからのご質問など農業に関して、お気軽にお問合せください。

旧西大泉支店に「西大泉ぴよぴよ」を開室しました



練馬区は、令和7年1月より旧西大泉支店に0～3歳の乳幼児親子が自由に遊び、交流できる子育てのひろば「西大泉ぴよぴよ」を開室しました。



【西大泉ぴよぴよ】

- ◆住 所 練馬区西大泉4-9-1
- ◆営業日時 月～土【休み:日・祭・年末年始】
- ◆営業時間 10時～17時
- ◆電話番号 03-5935-6886

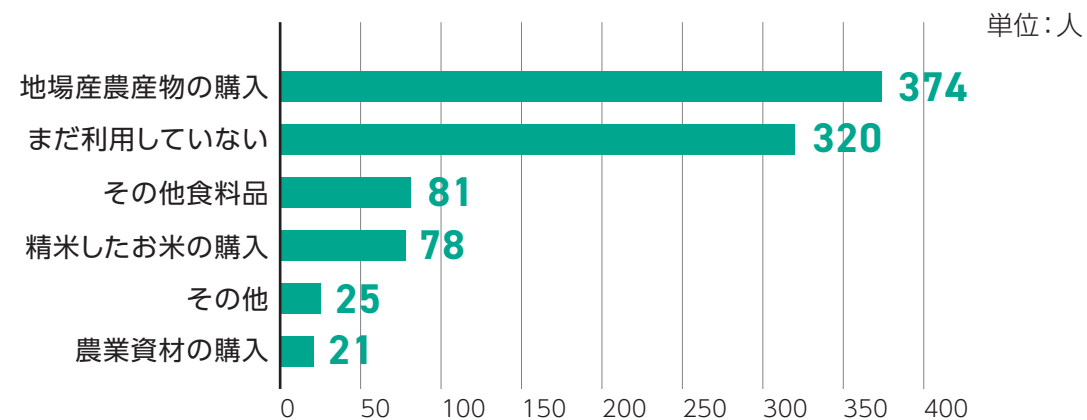
毎月、さまざまな行事を予定していますので、X(旧ツイッター)やねりま子育て応援アプリにてご確認ください!



担当者より

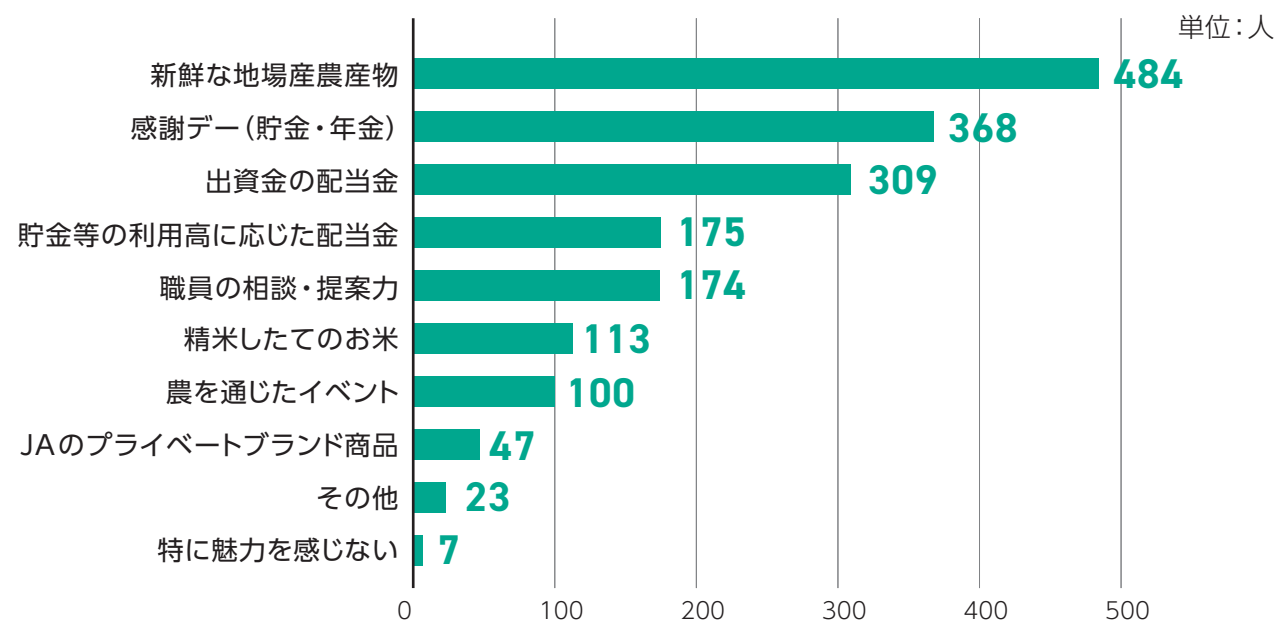
お子さまと気軽に立ち寄ってもらい、楽しくゆっくり過ごせる場となるよう心掛けております。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

直売所で利用できるお買い物補助券をどのように使いましたか。



最終利用率は53.1%となりました。
今年度もお買い物補助券を配布予定です。

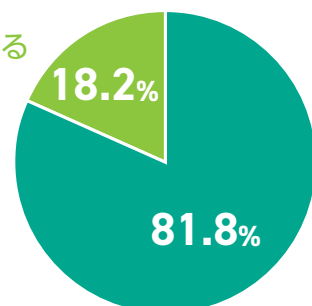
当JAに魅力を感じるところをご回答ください。(複数回答可)



引き続き、各部署と連携を強化し、
組合員・地域の皆さまにとって「身近な存在」となるよう
役職員一丸となって、魅力あるJAをめざします。

現在の年金受給状況をご回答ください。

これから受給する



現在、受給している

今回のアンケートは年金友の会会員の皆さまを中心にご回答をいただきました。たくさんの准組合員の方々にJA東京あおばで年金を受け取っていただいています。



令和6年度 JA東京あおば 准組合員アンケート結果について

准組合員は、「正組合員とともに、農業や地域経済の発展を共に支える」協同組合の仲間です。

JA東京あおばでは、准組合員の皆さまを、農業や地域を支える重要な仲間と位置づけ、「農業や地域経済の発展を共に支える組合員」、地域農業においては「地域農業振興の応援団」としております。昨年度、准組合員の皆さまを対象に広報誌を活用し、支店(窓口)利用者および年金友の会会員にアンケートを実施いたしました。そのアンケート結果についてご報告いたします。

実施期間 令和6年10月11日～12月30日

実施方法 広報誌「あおば」110号(令和6年10月発行)誌面からのアンケートハガキ、専用WEBフォーム、支店(窓口)利用者および年金友の会会員へのアンケート配布

回答数 903件 (Web回答：20件/アンケートハガキ、支店から用紙回収：883件)

質問内容 Q1 性別

Q2 年代(年齢)

Q3 直売所で利用できるお買い物補助券の使い道について

Q4 当JAに魅力を感じる点

Q5 現在の年金受給状況

<Q5で「現在、受給している」と回答された方⇒回答対象Q6～Q10>

Q6 年金受給機関

Q7 年金受給機関を選ぶポイント

Q8 年金受給時や年金友の会の魅力、取り組んでほしいこと

Q9 年金友の会の満足度

Q10 「年金受給者お友達紹介キャンペーン」について

<Q5で「これから受給する」と回答された方⇒回答対象Q11～Q13>

Q11 今後、年金受給機関を選ぶ際の優先度の高い項目

Q12 年金受給時や年金友の会の魅力、取り組んでほしいこと

Q13 無料の年金相談について

“知って”応援

ホームページ、SNS、広報誌「あおば」などで、JAの取り組みや直売所情報、地元の農業や農産物を知ることができます。



“作って”応援

JAでは農業体験などのイベントを開催しています。また、体験農園で野菜づくりや収穫を体験することができます。



正組合員
(農業者)



准組合員
(地域住民)

●担い手経営体
●中核的担い手
●多様な担い手

農業振興
の
主人公

農業者と
地域住民の連携で
地域農業を振興

農業や
地域経済の発展
を共に支える
パートナー

農業振興
の
応援団

地域振興の主人公

“食べて”応援

JA東京あおばでは農産物直売所を設け、地元の新鮮な農産物を地域に届けています。



“使って”応援

JAの取り扱う事業(信用事業、共済事業など)を利用して、農業者の所得向上や暮らしの充実を実現していきます。



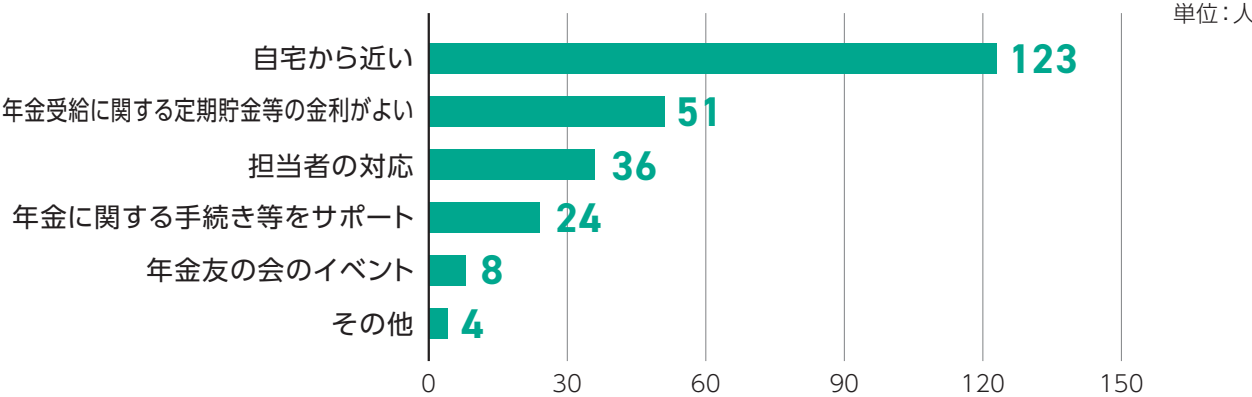
“伝えて”応援

JAは組合員や利用者の意見を聴き、運営に役立てています。

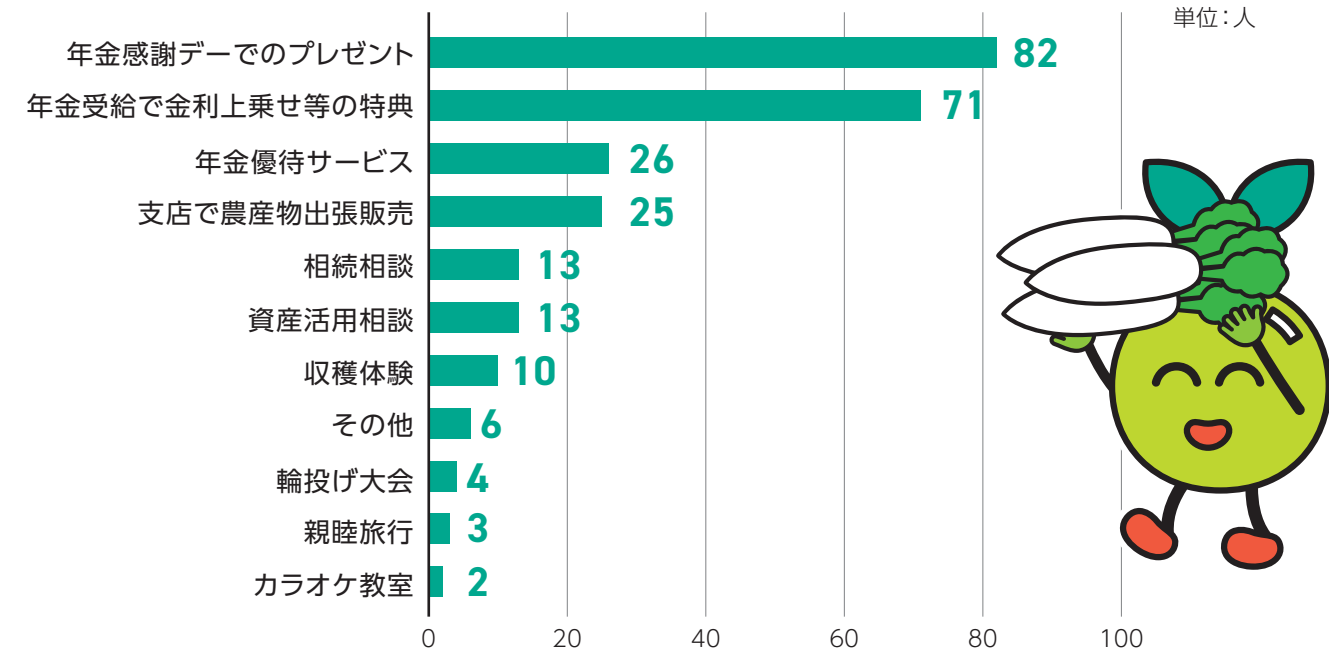


以下の質問は「これから、年金受給する」方にご回答いただきました。

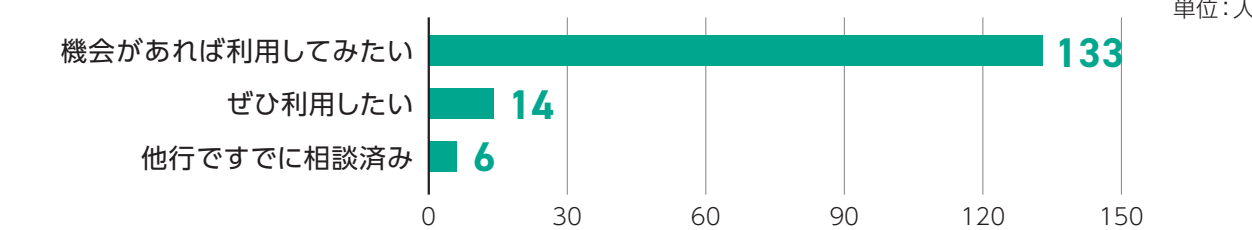
今後、年金受給機関を選ぶ際の優先度の高い項目をご回答ください。(複数回答可)



年金受給時や年金友の会の魅力、取り組んでほしいことをご回答ください。(複数回答可)



無料の年金相談についてご回答ください。



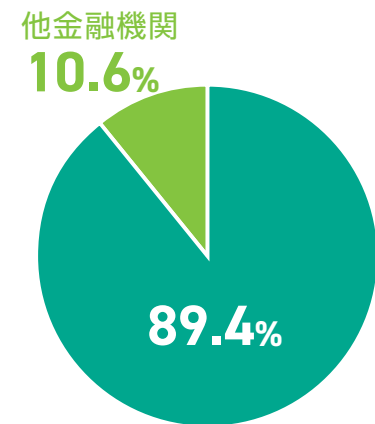
今回は「年金友の会」会員を中心に准組合員アンケートを実施しました。今回の結果を各部署と共有し、いただいたご意見等を参考に、魅力ある年金友の会の運営を行ってまいります。

また、当JAにて年金受給をいただいている方へのメリット・特典・イベント等を再検討し、多くの組合員の皆さまに年金受給口座を当JAに指定していただけるよう努めてまいります。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

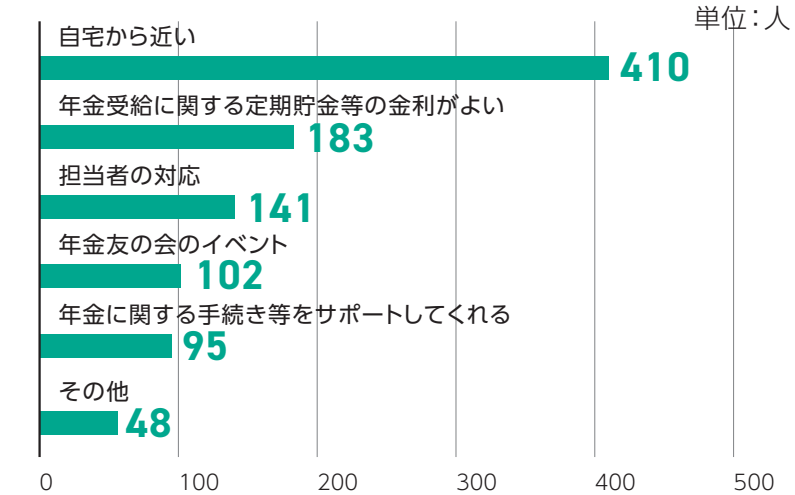
以下の質問は「現在、年金受給している」方にご回答いただきました。

年金受給機関をご回答ください。



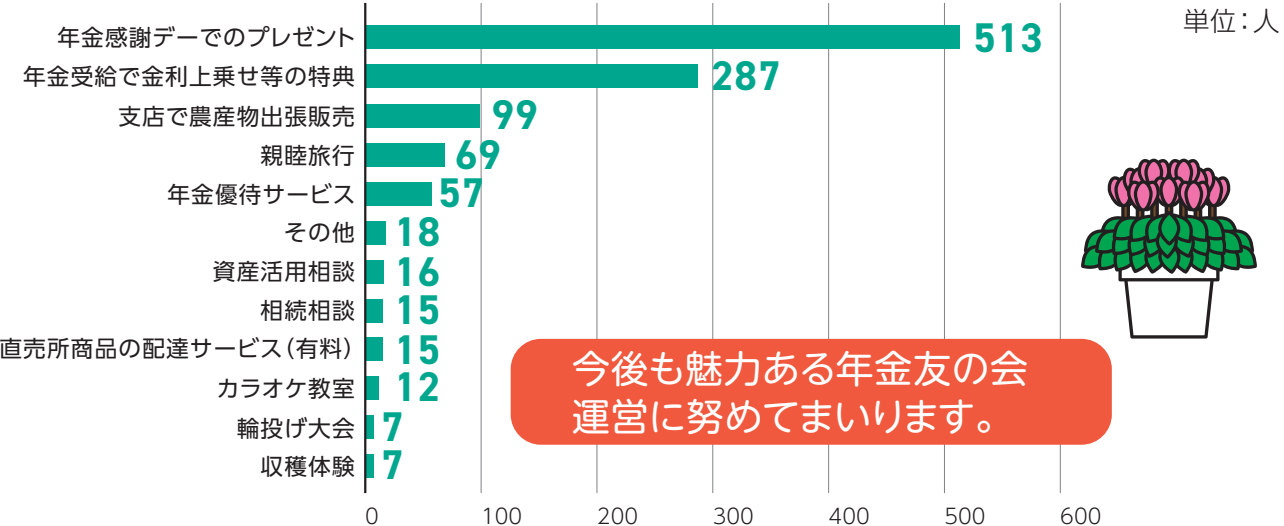
JA東京あおば

年金受給機関を選ぶポイントをご回答ください。(複数回答可)



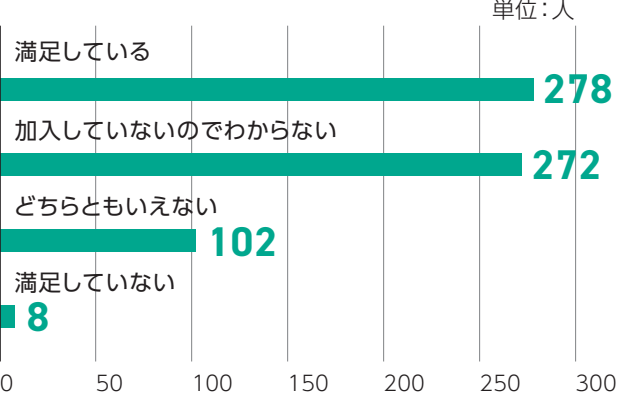
- その他(記述回答)
- ・プレゼントをもらえる
 - ・職員が親切
 - ・親からも依頼された
 - ・夫も利用している
 - ・知人に紹介された
 - ・いつも利用している
 - ・JAに親近感がある
 - ・税務相談などお付き合いがある
 - ・定期貯金がある
 - ・給与振込をしている

年金受給時や年金友の会の魅力、取り組んでほしいことをご回答ください。(複数回答可)

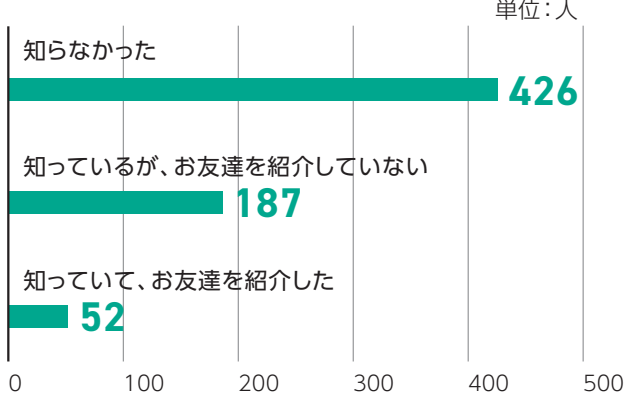


今後も魅力ある年金友の会運営に努めてまいります。

年金友の会の満足度をご回答ください。



「年金受給者お友達紹介キャンペーン」についてご回答ください。



情報発信を強化してまいります。



ハウスから見える駅ビル



被覆資材をかける淳さん



彩り豊かなマルシェの野菜



大泉学園町3丁目にもある販売機



自慢の土耕栽培のイチゴ



これからも
夫婦で最高の
美味しさを求めて

農の現場

都市農業の未来を探る

112

練馬区大泉学園町

加藤淳さん 優子さん

大泉学園駅から徒歩15分、大泉学園町2丁目の高台にある畑から出迎えてくれたのは、「かとちゃんファーム」の加藤淳さん(50)・優子さん(58)ご夫婦。加藤家の歴史は長く、少なくとも400年以上続く農家である。イチゴ、ブロッコリー・キャベツ・トウモロコシなど年間80品目を栽培し、スーパーマーケット、JA直売所、学校給食、庭先販売やマルシェなど幅広く出荷している。

淳さんは、3人兄弟の次男として生まれ、幼少期には祖母の手伝いでキャベツの出荷箱を作っていた。しかし、農家を継ぐことは考えてなく、学校卒業後は、業務用の冷蔵庫などを扱う会社に就職し、農業とは無縁の生活を送っていた。そんなある日、淳さんは不慮の事故に遭遇してしまい、半年以上リハビリ生活を余儀なくされた。「畑の仕事がリハビリによく、手伝いを始めたのがきっかけ」と当時を振り返りながら話してくれた。さらには、大泉地区青壮年部へ加入し、他の農家やJAとのつながりができたことも就農する決意の後押しになったという。淳さんが28歳のときだった。

その後、父親や先輩農家からノウハウを学んだ。マルチを敷いたり、アーチを作るのは淳さんが担当。「現場でやらないと野菜は作れない」と話し、畑で実践しながら、日々試行錯誤。土壌検査の結果を見ながら、どの野菜を作るか、どこを残して、確認できるようにしている。

一方、優子さんは、結婚を機に就農。「花も土いじりも好きだったから就農することには抵抗なかったかな」と明るい笑顔で話した。今では、ハウスの作物や出荷の調整を担当し、新しい野菜にも積極的にチャレンジ。優子さんが始めた作物は、パクチー、白いトウモロコシのホワイトシヨコラ、カラフルニンジン、赤からし菜などたくさんある。「白いトウモロコシは、黄色のトウモロコシの花粉で、色がミックスになると言われ、家族から断られた。でも、味は白色の方が甘くて美味しいから、絶対に始めたい」と何年も家族を説得し、始めたという。そんなアグレッシブな優子さんは、フレッシュ&Uターン農業後継者セミナーで知り合った農家など、いろいろな方々と情報交換しながら自身の農業に取り入れている。

かとちゃんファームのこだわりは「肥料」だ。「うちの野菜は味が美味しいのよ。味のためなら、かかるコストも惜しまない。肥料を抑えても野菜はできるが、味が変わってくる。肥料にこだわることで美味しく、甘い、野菜ができる」とご夫婦が情熱を込めて野菜を生産している姿が浮かんだ。また、定期的に出店するマルシェではいつも行列ができるほどの人気だ。

「本当は、旅行や温泉に行きたい」と笑いながら話すご夫婦。「でも、野菜は生きているから。あと、お客さんも待っているから」そう語る先には、これからも、それぞれの得意なことを活かしながら、美味しい野菜を届けるために挑戦し続けていくご夫婦の姿を感じた。



直売所でも人気のトマト！

こんにちは！きじまりゅうたです。

今回は、春夏が旬の「トマト」を使った料理をご紹介します。

JA東京あおばの直売所では、たくさんのトマトが出荷されています。最近では、露地栽培だけではなく、ハウス栽培（養液栽培など）のものもよく見かけます。種類豊富なトマトを選ぶのも楽しみのひとつですね。

とろみ煮は火を通したトマトの旨味を、マリネはフレッシュな食感を楽しめます。栄養価抜群のトマトを是非、お試しください。

プロフィール

豊島区（JA東京あおば管内）に生まれ育った料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが大人気。NHK「きじまりゅうたの小腹すいてませんか？」「あさいち」きょうの料理」など多数メディアに出演中。



RECIPE 2

トマトの 和風マリネ

材料2人分

トマト 2個
玉ねぎ 1/4個
ピーマン 1個
ニンジン 4cm

A
しょう油 大さじ3
酢 大さじ3
水 大さじ3
みりん 大さじ1
輪切り唐辛子 1本分
鰹節 2g

作り方

- ①ピーマンとニンジンは3mm幅の細切りに、玉ねぎは繊維と平行に3mm幅の薄切りにする。
- ②野菜にAをからめて15分以上置いてつけダレをつくる。
- ③トマトはヘタをくり抜き、先端に十字の切り目を入れる。
- ④鍋に熱湯を沸かして、トマトをくぐらせてから冷水にとって皮を剥く。
- ⑤トマトをくしがたに8等分に切ってつけダレに30分以上漬け込む。

これまでご紹介したレシピを
JA東京あおばのホームページ
に掲載しています。▶▶▶



RECIPE 1

鶏とトマトの とろみ煮

材料2人分

トマト 1個
鶏ももからあげ用 250g
青じそ 3枚
ごま油 小さじ1
塩 2つまみ

A
しょう油 大さじ2
みりん 大さじ1/2
B
片栗粉 小さじ1
水 小さじ2

作り方

- ①フライパンに油をひいて鶏肉の皮を下にして並べ、身の面に塩を2つまみ振り、中火にかける。
- ②青じそは縦半分に切って2～3mmの細切りにする。
- ③トマトはヘタをくり抜き、横半分に切ってからくしがたに6等分に切る。
- ④鶏肉の皮目に焼色がついたら裏返し、トマトを入れる。
- ⑤トマトの表面が崩れてきたらAを加える。
- ⑥トマトから水分が出てきたら、混ぜたBを加えてとろみを付ける。
- ⑦器に盛って青じそをのせる。



4月はサトイモの植え付け時期

昨年の10月(広報誌「あおば」110号)の記事はタマネギでした。4月には極早生品種の収穫は終わりますが、まだ中生品種は栽培が続いています。私はいつも中生タマネギの畝の中央に土室で保存していたサトイモの親イモを

逆さ植えにすると収量が増える

芽を下にして植えると、初めは芽が下に伸び始めますが、やがてUターンして地上に出てきます。普通栽培に比べると地上に芽が出るのには時間がかかります。約30日～40日後に地上に出てきます。ちょうど中生タマネギの収穫が終わる頃です。逆さ植えされたサトイモは適度なストレスがかかることで収量が普通栽培の1.5倍に増えます。

タマネギが終わったら土寄せ

中生タマネギの収穫が終わったらマルチを剥がし、ほかし肥料を撒いて畝の中央のサトイモの芽に向かって土寄せをします。土寄せは初秋にももう1～2回します。子イモは寄せられた土の中にできます。



4月 土室から種イモを取り出す



芽を確認する



サトイモの株元へ土寄せる



芽を下に向けてタマネギの間に植える

サトイモは水が好き

近年、夏が暑く雨が降らない天候が多くなりましたが、サトイモには積極的に水をやると生育が良くなります。私は自動灌水装置の下と無灌水のところと比較栽培したことがあります。サトイモの地上部の高さは無灌水の倍の差がありました。葉の大きさはできるイモの大きさに比例します。水をたっぷりやり大きな葉っぱにすることがサトイモをたくさん収穫するコツだと思います。

収穫の目安



10月になると立っていた葉がところどころ倒れ始めます。もうイモができている証拠です。そのまま枯れるまで置いて11月ごろに収穫してもよいのですが、葉が倒れ出したらもう収穫してよいでしょう。地上部の葉柄の基部を包丁で切り、スコップで株ごと掘り起こします。収穫したら親イモから子イモを外し、子イモは食用にします。親イモは1週間ほど乾かしてから翌年の種イモとして土室などに保存します。



晩夏には背丈も超える成長



葉が倒れ始めたら、収穫を始める



まるまる太った子イモがいっぱい採れる

収穫後はまたタマネギを栽培

サトイモ収穫後は昨年10月の記事のように畝を立て直し、タマネギの苗を植えます。毎年、同じ作物を同じ時期に同じところに栽培すると、その作物に共生する菌が増え、年々野菜がよくできるようになります。このワンパターン連作は定期的にもピタリでおすすめです。

連続栽培でない場合

畝の準備が必要です。畝幅70cmの栽培場所を耕し、1平方メートルあたり堆肥5kg、ぼかし肥料300g、草木灰100gを撒いて表層に混ぜ合わせます。畝の中央に30cm間隔で種イモを尻が地表スレスレぐらいに逆さ植えます。芽が出てきたからの作業は連続栽培と同じです。暑い乾燥する夏にはたっぷり水やりをすれば秋にはたくさんサトイモが収穫できます。

ふくだ とし
福田 俊

プロフィール

1972年 東京農工大学農学科卒。
2005年 協和種苗(株)退職。
2011～2022年 東京農業大学グリーンアカデミー講師。
サラリーマン時代より貸し農園での野菜づくりを研究。
2012年～ 「日本農業新聞」で「フクダ流」を連載中。
貸し農園アグリス成城指導員。

能登復興支援定期貯金の報告・御礼

「能登復興支援定期貯金」は、多くの皆さまのご賛同の下、販売を終了いたしました。
下記義援金を日本赤十字社を通じて、令和7年2月13日に被災地へ寄付させていただきました。

義援金額：610,910円

「能登復興支援定期貯金」にご賛同いただいた皆さまに改めて感謝申し上げます。

東京あおば農業協同組合

身近に見！新鮮！庭先お買い物MAP

本企画は庭先直売所を紹介するコーナー。ぜひ身近に感じてお出かけください！



今回は下石神井地区
(一部上石神井地区)をピックアップダネ！
4月になって少しずつ暖くなり、お散歩日和ダネ！地図をたよりに、新鮮な農産物を求めて、お出かけダネ！



1 山下農園 (山下 蔵さん)

住所 石神井町6-32-16
時間(目安) 【水・土・日曜営業】
10:00~なくなり次第終了
販売品目 エダマメ、コマツナ、
サツマイモ、ジャガイモ、
ダイコン、トマト、ホウレンソウ、
ブルーベリーほか



2 山下農園 (山下 武志さん)

住所 下石神井6-35-3
時間(目安) 8:00~なくなり次第終了
販売品目 エダマメ、キャベツ、コカブ、
ジャガイモ、ダイコン、トマト、
ミニトマト、ニンジン、
ホウレンソウ、レタス ほか



3 石塚農園 (石塚 茂さん・光さん)

住所 下石神井5-10-1
時間(目安) 8:00~21:00頃まで
販売品目 エダマメ、キュウリ、トマト、
ナス、ホウレンソウ、長イモ、
カリフラワー、キャベツ、ダイコン、
ブロッコリー、ニンニク ほか



4 小川農園 (小川 和徳さん)

住所 下石神井5-6-49
時間(目安) 販売日時・時間は時期に
なりましたら、農園に提示します。
販売品目 ブドウ(8月頃予定)
品種：高尾、藤稔、竜宝、
シャインマスカット



5 本橋農園 (本橋 朋和さん)

住所 下石神井1-3-18
時間(目安) 10:00~なくなり次第終了
販売品目 サトイモ、トマト、ナス、
ピーマン、フキ、タラノメ、カキ、
ダイコン、フィンガーライム、
エダマメ ほか



6 ベジファームかのん (高橋 範行さん)

住所 上石神井2-10-2 (第1売場)
上石神井2-11-9 (第2売場)
時間(目安) 9:00~17:00
販売品目 エダマメ、キュウリ、サツマイモ、
サトイモ、ジャガイモ、トウモロコシ、
トマト、ブロッコリー、グリ、ミカン、
原木シイタケ、ネギ、加工品 ほか



税務・法律相談のご案内

お気軽にご相談ください

無料
予約制

ご予約は各相談日の前営業日の午後3時までとさせていただきます。
※相談日が祝・祭日の場合は、店舗にお問い合わせください。

練馬春日町支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/9時~12時
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2金曜日/9時~12時
所在地 練馬区春日町1-17-34



TEL.03-3999-1451

東京協同サービス(株) 平和台支店

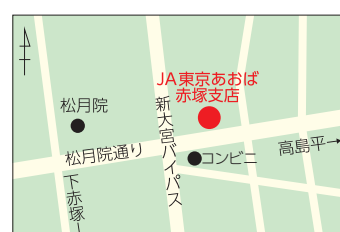
税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第1・第4土曜日/9時~16時
所在地 練馬区早宮2-17-50
平和台STビルⅡ



TEL.03-3931-6051

赤塚支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎月第1・第3火曜日/10時~16時
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2木曜日/13時~16時
所在地 板橋区四葉2-8-3



TEL.03-3930-0115

石神井支店

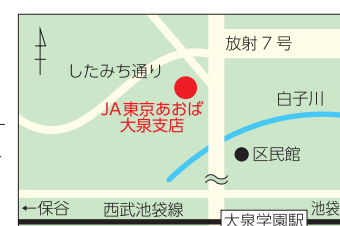
税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第2火曜日/13時~16時
ランドマーク税理士法人
毎月第3水曜日/13時30分~15時30分
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2月曜日/13時~16時
所在地 練馬区石神井町5-11-7



TEL.03-3995-4121

大泉支店

税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第1火曜日/9時~12時
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/13時30分~15時30分
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第3火曜日/9時~16時
所在地 練馬区大泉学園町2-12-17



TEL.03-3925-3111

読んで、アンケートに答えて すてきなプレゼントをもらおう!!

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。

※クロスワードの解答は任意です。



プレゼント応募締め切り 5月30日(金)必着

読者プレゼント

- 1 各支店の窓口ポストに応募用紙投函(無料)
- 2 85円切手を貼って郵送
- 3 専用webフォームからも応募できます▶▶

応募要項

氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号・取引支店名・JAと本誌へのご意見や感想、地域の話、楽しいお話、俳句など、自由にお書き添えのうえ応募ください。なお、ペンネーム、匿名を可としますが、本名の明記を必ずお願いします。抽選で5名様にプレゼントいたします。

個人情報等の取り扱いについて

ご応募いただきました応募用紙等の個人情報・記載内容は、当JA広報活動の目的以外では使用いたしません。



プレゼント

JA東京あおば管内で
育てられた季節のお花セット



※イメージ
色や種類はお選びいただけません。

5名様

日頃の感謝をこめて
「野菜」や「花」などをプレゼントいたします。

貯金感謝デー

- 配布条件
- 定期積金・積立定期
 - ご契約期間：3年以上
 - お預入れ金額：10,000円以上

奇数月の18日に開催
休日の場合「翌営業日」

年金感謝デー

- 配布条件
- 当組合にて年金を
受給されているお客さま

偶数月の15日に開催
休日の場合「前営業日」

編集後記

皆さまは「3年」と聞いて何を連想されますか?「中学校や高校の在学期間」「桃栗三年柿八年」など様々ありますが、「石の上にも三年」ということわざもそのひとつで、何事も我慢強く辛抱すれば必ず成功するという教訓です。

広報誌「あおば」は、見て読んで楽しい誌面づくりで魅力のある情報発信をモットーにしています。取材や編集作業は苦勞を伴うこともありますが、皆さまの温かいコメントやご意見が、広報誌制作のモチベーションアップにつながります。今後ともご愛読のほどよろしくお願いいたします。また、当組合のオフィシャルキャラクター「たねりん」はお披露目から3年を迎えました。たねりんはこれからも様々なイベントに登場しますので、見かけたら声をかけてあげてくださいね。

(広報委員 比留間)

前号の答え

ゲ イ シ ユ ン



たくさんのご応募
ありがとうございました。

当選者はプレゼントの発送をもって
発表にかえさせていただきます。

読者のひろば

朝採れの
野菜おいしい
「あおば」かな
from しまたさん
大泉支店

直売所に青果のほかに
お肉や干物、西京漬け等
いろいろ陳列されていて
楽しみです。
from T.Sさん
石神井支店

先日、相続による名義変更
をしましたが、対応が大変
良かったので、今後も契約
を継続するつもりです。
from OKAさん
石神井支店

from F.Nさん
赤塚支店

アサンのシロアリ
駆除、2回目済みま
した。JAに安心して
お願いしています。
from K.Kさん
練馬春日町支店

10月の感謝デーでもらった
スマリがまだ咲いています。
もらった花はいつも元気です。
from runtanさん
田柄支店

20年近く前から歌手の
コンサートを毎年楽しみに
していました。
また、復活して欲しいです。
from C.Mさん
関町支店

菜の花の
ほろにがさを味
み春おもう
from ノリさん
赤塚支店

from 洋子ばあばさん
平和台支店

花粉症
今年は早い
気が重い
from バンちゃんさん
中村橋支店

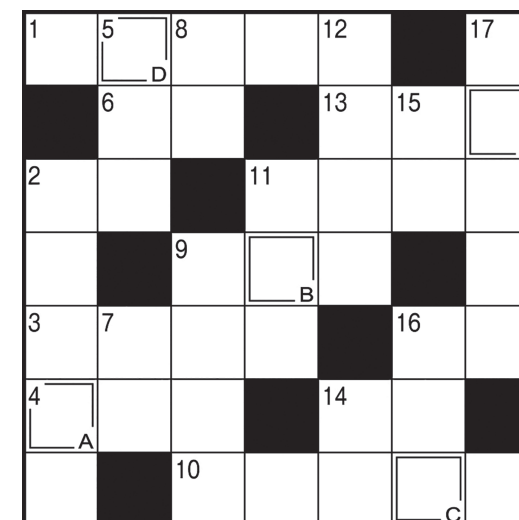
年金友の会のバス旅行に
参加してとても楽しかった
です。次回もぜひ参加した
い。
from K.Kさん
板橋支店

クロスワードに
挑戦!

答えは次号で
お知らせだね!



二重マスの文字を A~E の順に
並べてできる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- 1 富山湾でとれるものがある有名な春の味覚。青く光ります
- 2 茶わんのセットや重箱を数えるときに使う言葉
- 3 手品、マジックともいいます
- 4 来週の火曜日——にもう一度来てください
- 6 祝い事につきものの魚
- 9 麻雀で上がる前にかけることも
- 10 これが終わると新学期。入学式もあります
- 11 インクを付けて押します
- 13 テニスの試合で——の応酬が続いた
- 14 鬼さんこちら、手の鳴る——へ
- 16 よく×(バツ)と対比されます

タテのカギ

出題●ニコリ

- 2 タイヤにつないでシュコシュコ
- 5 柔道場に敷かれているもの
- 7 新しいクラスで——紹介をした
- 8 ——は友を呼ぶ
- 9 茶道では表千家、裏千家など
- 11 真新しい——を着て入社式に臨んだ
- 12 漢字で書くと枸橘、枳殻。春に白い花を咲かせます
- 14 海のパイナップルと呼ばれる海産物
- 15 肥料の三要素は窒素、——酸、カリウム
- 16 パソコンの入力装置のひとつ
- 17 4月のこと。——・フール



青壮年部 活動紹介

皆さんこんにちは! JA東京あおば青壮年組織協議会は、全国農協青年組織協議会(JA全青協)主催の2024年度「JA青年組織手づくり看板全国コンクール」で全国消費者団体連絡会賞を受賞しました。コンクールのテーマは「『感謝』を伝えよう」、全国から集まった作品の中からの受賞となりました。看板のデザインは青壮年部員と職員が一緒に手掛けたもので「普段言えない、日頃からの感謝の気持ちを!」という想いを込め、各地区青壮年部員が描き上げました。



写真は2月28日(金)、JA全青協会長の酒井雅博会長(大泉地区青壮年部所属)から水橋宏二会長(練馬地区青壮年部部長)へ賞状の授与が行われたときのものです。

看板は今後、管内で行われるイベントでの展示など、都市農業のPRに活用される予定です。



問い合わせ先

JA東京あおば青壮年組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)
電話:03-5910-3066(平日9時~17時)

女性部活動紹介

板橋地区

板橋地区女性部よさこい鳴子踊りの会

私たちは「よさこい鳴子踊りの会」を2011年に立ち上げ、発足から15年目を迎えます。はじめは全員が初心者で、鳴子の鳴らし方から教わり、少しずつですが上達してきました。JA東京あおば農業祭や地域イベントの舞台にも出演し、目標を持ちながら現在35人で楽しく活動しています。月1回の活動ですが、身体を動かすことはとても気持ちいいです! ぜひ私たちと一緒に踊りませんか?

また、板橋地区女性部では今年、ペン習字とクラフトバンドのサークルを立ち上げ予定です。興味のある方はぜひ女性部へお声がけください。

※クラフトバンドサークル: 牛乳パックや古紙を再生した紙ひもを使用して、小物を作成するサークル。



問い合わせ先

JA東京あおば女性組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)
電話:03-5910-3066(平日9時~17時)

学ぼう。遊ぼう。
楽しもう。

新メンバー大募集!!

JA東京あおば女性部

